

熊本県こども計画で特に御意見を伺いたいこと ～「こどもまんなか熊本」の実現に向けて～

令和7年(2025年)8月20日
熊本県健康福祉部



「こどもまんなか熊本」について

- 「こどもまんなか熊本」とは、こども・若者がキラキラ輝き、県民が家庭や子育てに夢を持てる熊本のことです。
- その実現のために、「こどもまんなか熊本・実現計画」（こども計画）（5カ年計画）を令和7年3月に策定しました。
- 計画の策定にあたり、パブリックコメントやこども未来創造会議の開催などを通じて、こども・若者、子育て当事者等の皆様を始め、多くの方から意見をいただきました。
(令和6年度は256人から566件の意見をいただきました。)



(令和6年度のこども未来創造会議の様子)



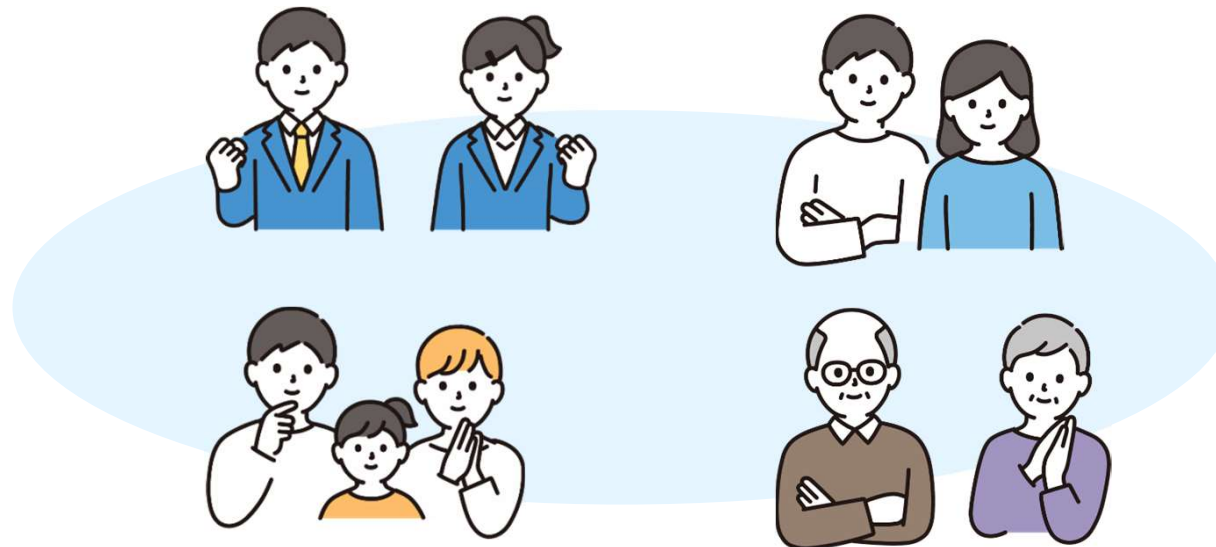
「こどもまんなか熊本・実現計画」
(基本方針編)の表紙

計画をご覧になりたい方はこちら
<https://www.pref.kumamoto.jp/soshiki/35/229150.html>



「こどもまんなか熊本」について

- 計画は、5年程度を見据えた基本的な方針等を定める「基本方針編」と、具体的に取り組む施策を中心にまとめる「具体施策編」の二部構成であり、具体施策編は毎年度、改訂します。
- 今後も、「こどもまんなか熊本」の実現に向け、県民の皆様の御意見を聴きながら、より良い施策につなげていきたいと思ひます。
- 次のページから書いていることについて「こういうことも大事にしてほしい」「もっとこんな熊本になったらいいな」「もっとこんなサポートをしてもらえたらいいな」という、皆さんの声をお聴かせください。

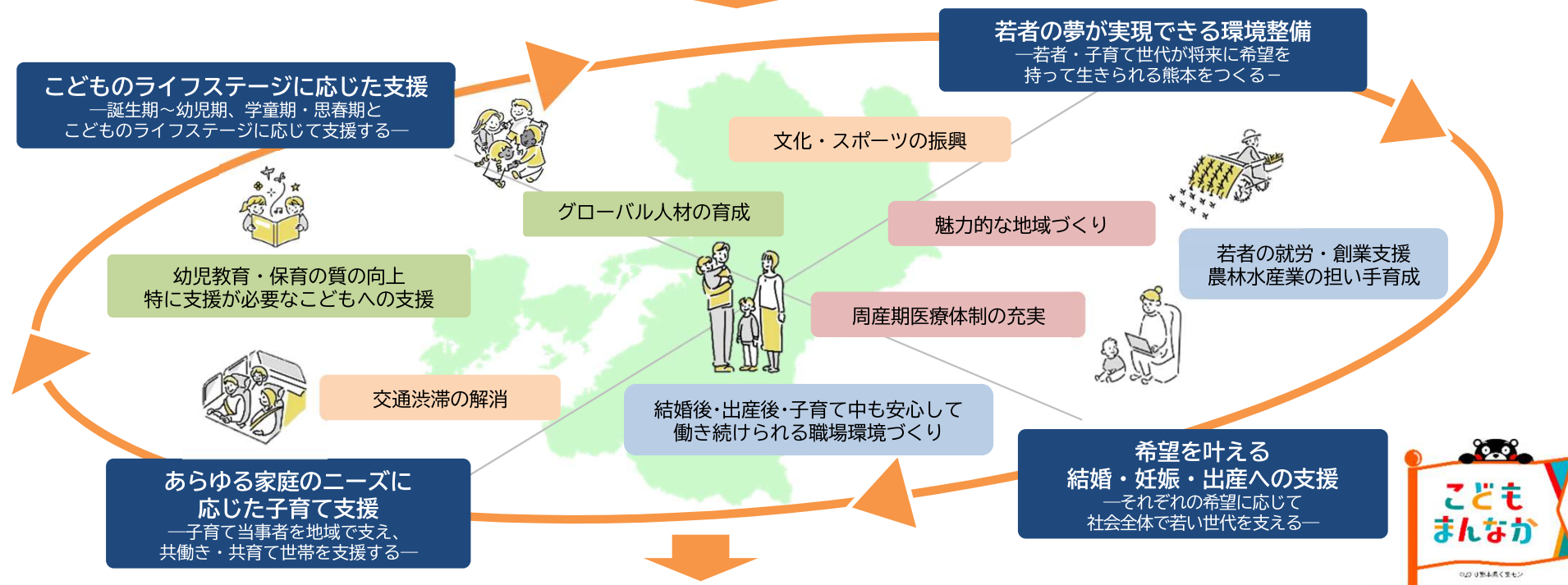


(参考)「こどもまんなか熊本」の考えについて

- 「こどもまんなか熊本」は、**こども・若者がキラキラ輝き、県民が家庭や子育てに夢を持てる熊本**であり、あらゆる立場の個人や組織、コミュニティ等が、こどもや若者、子育て当事者の視点に立ち、その最善の利益を第一に考えながら様々な取り組みを実施する熊本である。
- こうした「こどもまんなか熊本」の実現により、**こども・若者が、尊厳を重んぜられ、自分らしく自らの希望に応じてその意欲と能力を活かすことができるようになることや、こどもを産みたい、育てたいと考える個人の希望が叶うことにつなげ、こどもや若者、子育て当事者の幸福追求を支援する。**



**こども・若者、子育て当事者の視点（＝こどもまんなかの視点）に立って、
くまもと新時代共創基本方針・総合戦略と連携しながら、熊本県の重要施策として推進**



結果として、少子化・人口減少の流れを大きく変えるとともに、未来を担う人材を社会全体で育み、社会経済の持続可能性を高める。

「こどもまんなか熊本」の実現により、
こども・若者、子育て当事者はもちろん、全ての県民にとって社会的価値を創造し、その幸福を高める。

「こども未来創造会議」での意見聴取のテーマについて

本県の現状・主な課題

共働き世帯の増加
20代後半では約50%
30代になると約60～70%が共働き

未婚化
R2 25～29歳未婚率
男性約7割 女性約6割

晩婚化
R6 平均初婚年齢
男性30.4歳 女性29.5歳

出生数の減少
R6 10,337人
9年連続減少

「こどもまんなか熊本」の取組みの方向性

- こども・若者が幸せに暮らし、成長できるようにする
- 子育て中も安心して働き続けられる環境の整備
(放課後児童クラブの充実、病児・病後児保育の充実)
- 中小企業での「こどもまんなか熊本」の取組み推進
- 結婚から安心してこどもが産める流れを創る
(出会いの創出(結婚支援)、ライフデザインを考える機会)
- 庁内外の連携体制の構築

令和7年度の事業

- 県民ニーズや運営状況の把握、関係者からの意見聴取など
- 結婚支援のあり方検討

意見聴取のテーマ

放課後児童クラブの充実

病児・病後児保育の充実

結婚も含めた
ライフデザインの支援

熊本県の放課後児童クラブの現状

学童保育



- 実施主体は市町村
- 県内では、42市町村、566クラブが活動中
※残りの3町村も異なる形で児童を受入れ。
- 県内で約21,000人の児童が利用中
- 全国的に待機児童が発生しており、県内においても発生
- 開所時間や受入対象学年、長期休暇期間中の昼食提供などはクラブによって異なる。

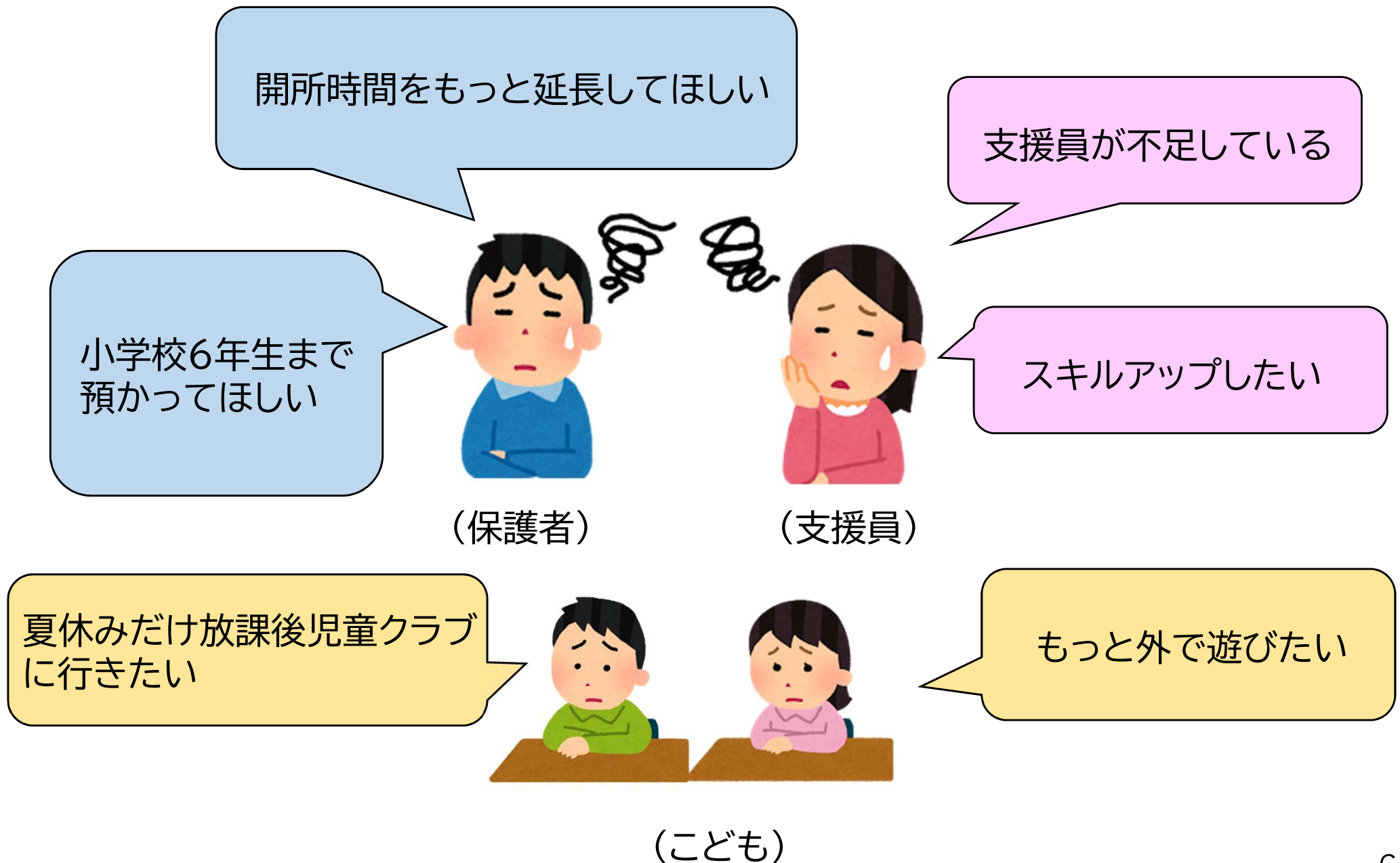


【こどもまんなか熊本・実現計画の関連箇所】

・全てのこどもが放課後を安全・安心に過ごし、多様な体験・活動を行うことができるよう、全ての児童に様々な交流、体験等の機会を提供する放課後子供教室の設置促進や放課後のこどもの遊びと生活の場である 放課後児童クラブの受け皿整備を着実に進め、放課後児童クラブの安定的な運営を確保し、待機児童の早期解消と「小1の壁」「小4の壁」の克服を図るとともに、学校施設の利用促進の観点も含め首長部局・教育委員会等の連携を促進する等の放課後児童対策に取り組みます。

・保護者の就労支援において、子育て当事者の安定的な経済基盤を確保する観点から、単に職を得るにとどまらず、所得の増大、職業生活の安定と向上のための支援を進めます。仕事と両立して安心してこどもを育てられる環境づくりを進めます。

熊本県の放課後児童クラブの課題



熊本県の病児・病後児保育の現状

病児・病後児保育とは

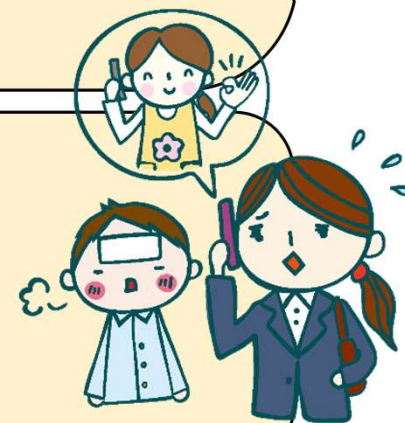
- こどもが病気の際に自宅での保育が困難な場合に、病院・保育所等において病気のこどもを一時的に保育するほか、保育中に体調不良となったこどもへの緊急対応や病気のこどもの自宅への訪問などを行うことです。

熊本県内の病児・病後児保育施設について

- 県内37市町村で実施(周辺市町村との共同設置や広域連携を含む)

基本的な利用方法(市町村や施設によって異なります。)

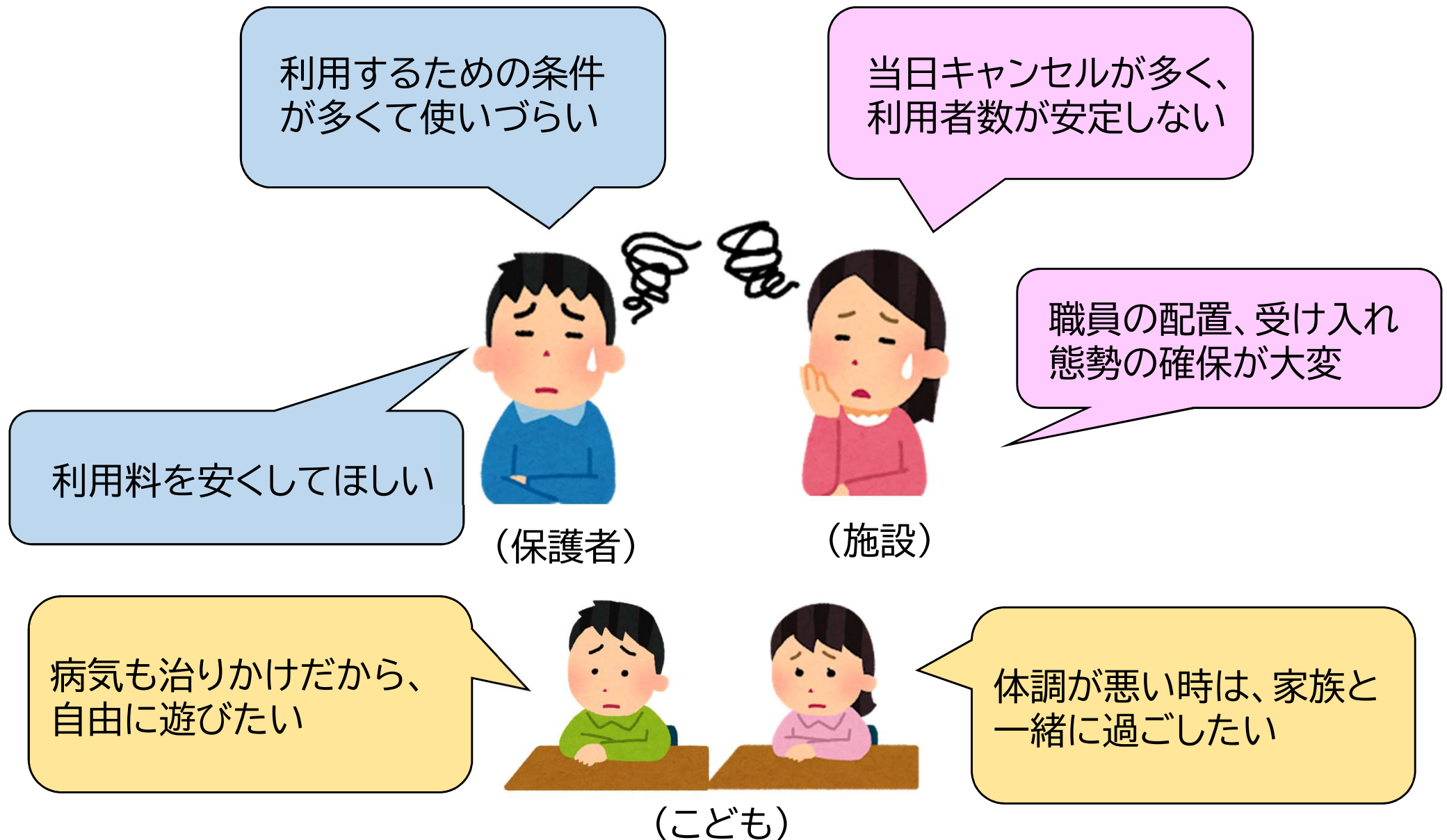
- ① 事前登録
 - ② 医療機関を受診
 - ③ 施設に予約
- ※②と③は前後することもあります。



【こどもまんなか熊本・実現計画上の関連箇所】

・病児保育の充実を図るとともに、こどもが病気の際には休暇を取れるよう、職場における休暇取得の気運を醸成します。

熊本県の病児・病後児保育の課題



結婚も含めたライフデザインの支援の現状

ライフデザインとは

- 人生における様々な出来事(ライフイベント)を考慮して、自分らしい生き方や将来の目標を設計することです。単に「人生設計」という意味だけでなく、自分の価値観に基づいて、進学、仕事、結婚、妊娠・出産、子育てなど、人生全体を主体的・総合的に考えていくことです。

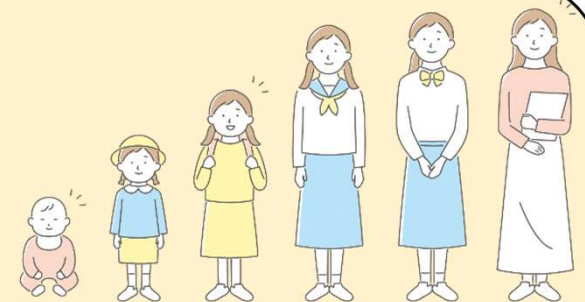
熊本県民アンケートの結果(令和5年)

○こどもを持たないライフスタイルを希望する主な理由

- 社会人:こどもを持つイメージが湧かない、必要性を感じない
- 学生・生徒:自信がない、育て方が分からない

○子育てに必要な支援

- 社会人、学生・生徒:
働きながら子育てができる環境であること、こどもを産み育てていくために必要な資金、
保育・子育てサービスの充実



【こどもまんなか熊本・実現計画の関連箇所】

- ・婚活イベントの開催や、結婚の決断を後押しする結婚相談窓口・結婚情報発信の充実、結婚に伴う新生活のスタートアップへの支援等により、婚活・結婚を重点的に支援します。
- ・誤解に基づくライフデザイン設計とならないようにするとともに、10歳代の予期しない妊娠をなくすため、学校と連携する等して高校生などの若い世代に対して、講演会等を通じて、性や生、ライフデザインに関する正しい知識の普及啓発や相談窓口の周知を行う等、ライフデザイン支援を推進します。

結婚も含めたライフデザインの支援の課題

将来に対する不安を減らすためにも、
今のうちに将来設計を立てておきたい

結婚はしたいけど、
出会いの場が無い



妊娠・出産について
正しい知識を知りたい

将来、自分がやりたいこと
がうまく思い浮かばない

ライフデザインって、そも
そもどんなこと？

